

令和6年度全国学力・学習状況調査の結果の概要について

1 目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 現状（前回の調査結果）

- 小学校は、全ての教科において、平均正答率が全国を上回っている。
- 中学校は、国語において、平均正答率が全国と同程度である。数学において、平均正答率が全国を下回っている。

3 概要

(1) 調査対象

	調査実施 学校数	集計 対象者数
小学校第6学年、義務教育学校前期課程第6学年、 特別支援学校小学部第6学年	451校	22,601人
中学校第3学年、義務教育学校後期課程第3学年、 中等教育学校第3学年、特別支援学校中学部第3学年	239校	20,038人

(2) 調査日

令和6年4月18日（木）

(3) 調査結果（詳細は別紙）

- 小学校は、国語及び算数において、平均正答率が全国を上回っている。
- 中学校は、国語において、平均正答率が全国と同程度である。数学において、全国を下回っている。

		小 学 校		中 学 校	
		国語	算数	国語	数学
平均正答率	広島県	69	64	58	52
(%)	全 国	67.7	63.4	58.1	52.5

- 平均正答率が全国を下回った中学校の数学については、等式を目的に応じて変形することや、文字式を用いて数を表すことなど、基礎的な知識・技能に課題がみられた。

(4) 今後の対応

教員、市町教育委員会の指導主事等を対象とした研究協議会をオンラインで実施し、各学校が課題に応じた授業改善に取り組めるよう支援する。（9月を予定）

4 その他

令和6年7月29日（月）17時に、広島県教育委員会のHPで、広島県の調査結果を公表するとともに、一人1台端末を活用した授業展開例についての解説動画を提供。

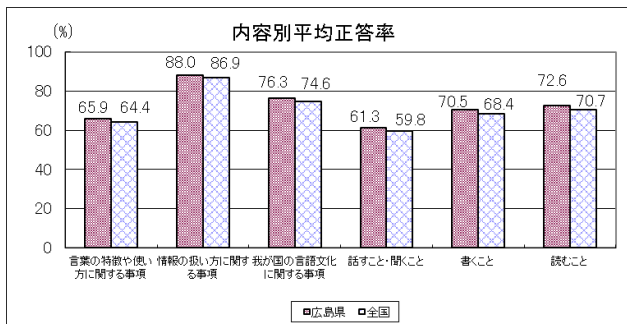
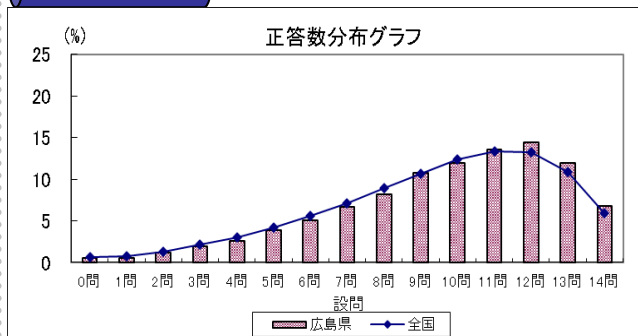
広島県教育委員会のホームページでの公表先及び解説動画提供先リンク

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/kyouiku/r06zenkokukekka.html#ancher4>

1 小学校 国語

○ 国語については、平均正答率が69%で、全ての内容において平均正答率は全国平均より高い。

国語



正答率上位2問

- 【高山さんのメモ】の書き表し方を説明したものとして、適切なものを選択する
(設問 2- (2)) 88.0% (全国 86.9%)
- 高山さんが文章に書くことを決めるために、どのように考えたのかについて説明したものとして、適切なものを選択する
(設問 2- (1)) 81.1% (全国 80.3%)

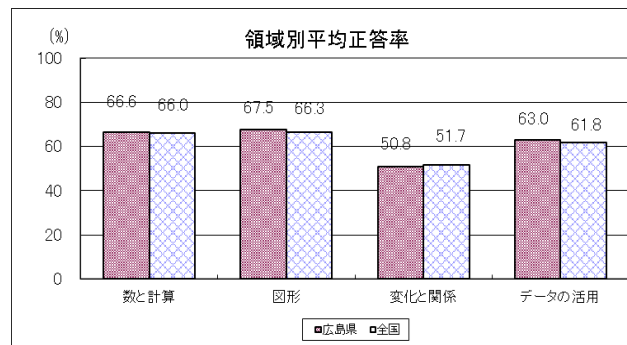
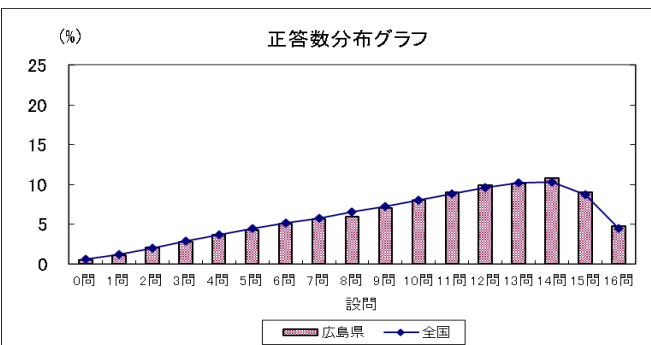
正答率下位2問

- 【高山さんの文章】の下線部アを、漢字を使って書き直す(きょうぎ)
(設問 2三ア) 44.7% (全国 43.4%)
- オンラインで交流する場面における和田さんの話し方の工夫として適切なものを選択する
(設問 1二 (2)) 54.1% (全国 52.9%)

2 小学校 算数

○ 算数については、平均正答率が64%で、領域別では「変化と関係」の平均正答率が全国平均より低く、その他は全国平均より高い。

算数



正答率上位2問

- はじめに持っていた折り紙の枚数を口枚としたときの、問題場面を表す式を選ぶ
(設問 1 (2)) 88.1% (全国 88.5%)
- 作成途中の直方体の見取図について、辺として正しいものを選ぶ
(設問 3 (1)) 86.8% (全国 85.5%)

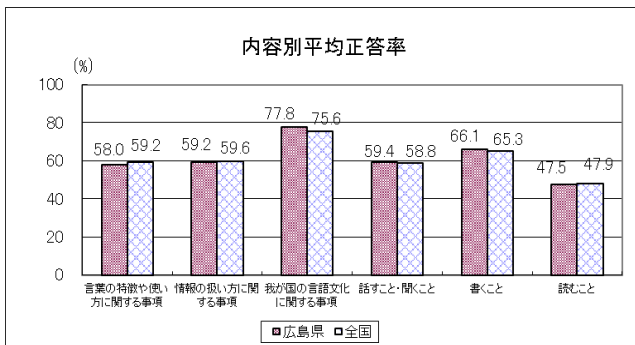
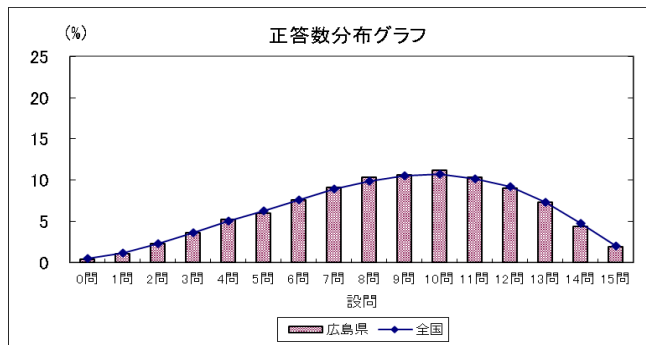
正答率下位2問

- 家から学校までの道のりが等しく、かかった時間が異なる二人の速さについて、どちらが速いかを判断し、そのわけを書く
(設問 4 (3)) 30.4% (全国 31.0%)
- 直径22cmのボールがぴったり入る箱の体積を求める式を書く
(設問 3 (3)) 37.6% (全国 36.5%)

3 中学校 国語

- 国語については、平均正答率が58%で、内容別では、「言葉の特徴や使い方に関する事項」、「情報の扱い方に関する事項」、「読むこと」の平均正答率は全国平均より低く、他の内容は全国平均より高い。

国語



正答率上位2問

- 物語を書くために集めた材料を取捨選択した意図を説明したものとして適切なものを選択する (設問 3一) 81.0% (全国 81.4%)
- 行書の特徴を踏まえた書き方について説明したものとして適切なものを選択する (設問 4三) 77.8% (全国 75.6%)

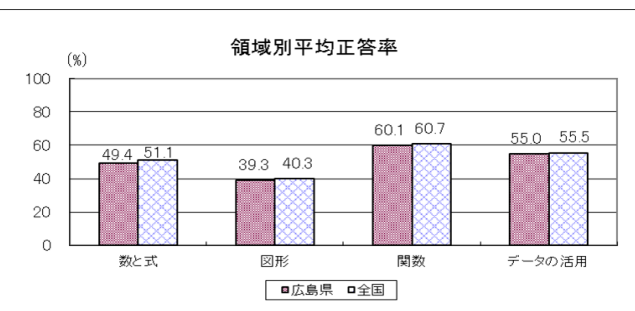
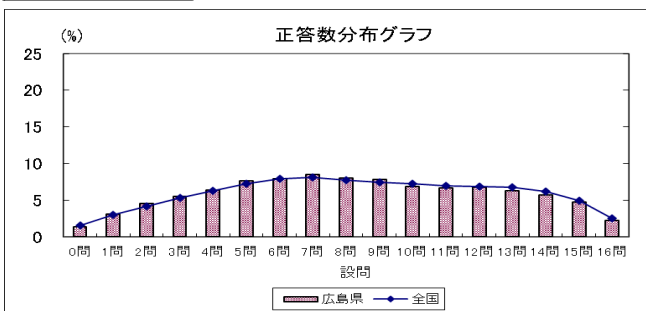
正答率下位2問

- 本文中の図の役割を説明したものとして適切なものを選択する (設問 2一) 35.3% (全国 36.3%)
- 本文に書かれていることを理解するために、着目する内容を決めて要約する (設問 2四) 42.4% (全国 42.6%)

4 中学校 数学

- 数学については、平均正答率が52%で、全ての領域において平均正答率は全国平均より低い。

数学



正答率上位2問

- 正三角形の各頂点に○を、各辺に□をかいた図において、○に3、-5を入れるとき、その和である□に入る整数を求める (設問 6(1)) 90.4% (全国 90.2%)
- ストープの使用時間と灯油の残量の関係を表すグラフとy軸との交点Pのy座標の値が表すものを選ぶ (設問 8(1)) 83.6% (全国 83.4%)

正答率下位2問

- 18Lの灯油を使いきるまでの「強」の場合と「弱」の場合のストーブの使用時間の違いがおよそ何時間になるかを求める方法を、式やグラフを用いて説明する (設問 8(2)) 17.4% (全国 17.1%)
- 車型ロボットについて「速さが段階1から段階5まで、だんだん速くなるにつれて、10cmの位置から進んだ距離が長くなる傾向にある」と主張することができる理由を、5つの箱ひげ図を比較して説明する (設問 7(2)) 24.8% (全国 25.9%)